

## 回 答 書

2025年11月19日  
日本貨物鉄道株式会社

2025年度上半期は「JR貨物グループ長期ビジョン2030」と、「JR貨物グループ中期経営計画2026」（以下、「中計2026」）で定めた基本方針を踏まえ、鉄道事業の基盤は安全であるという認識のもと安全体制の強化に継続的に取り組みながら、「作業記録の書き換え等の不適切事案の再発防止」のほか、2025年度事業計画に掲げた6つの取組みを進めてきました。

2025年度上半期における経営状況は、エコ関連物資の安定的な発送に加え、自動車部品の増送が継続したこと、事故・災害による輸送障害が例年に比べ少なかったこと等により、コンテナ・車扱あわせた輸送量が前年比104.2%となり、鉄道事業営業収益は対前年34億円の改善となりました。また、関連事業では社宅跡地の土地持分譲渡があったこと等により、関連事業営業収益は対前年10億円の改善となりましたが、物価上昇等による大幅なコスト増の影響を受けたことにより、JR貨物単体の経常利益は1億円の赤字となり、対前年で30億円改善しました。

一方で、貨物鉄道輸送の社会的役割を最大限に発揮し、物流の2024年問題やカーボンニュートラルの実現といった社会課題の解決に貢献していくためには、グループ社員の総力を結集し、「中計2026」に掲げる5つの基本方針に基づく各種施策を着実に推進していくことが不可欠です。

要員需給が厳しいなか日々の運行はもとより、災害時にも使命感を持って対応した社員の皆さんの奮闘により、お客様に鉄道輸送サービスが提供できたことに感謝するとともに、貨物鉄道輸送の社会的役割を果たすべく、輸送量のさらなる拡大に向け全社一丸となって取り組むことを期待し、以下の通り回答します。

### 記

#### 1. 基準額

基準額は、基準内賃金の1.74箇月分とする。

#### 2. 支給日

2025年12月5日（金）とする。

#### 3. その他

支給額には、ライフプラン支援金を含む。

以 上